



市子連だより

平成27年9月

発行 小田原市子ども会連絡協議会 発行責任者 橋本輝夫

編集担当 広報委員会 委員長 穂坂明範

北條五代祭り

5月3日(日・祝)

例年通り5月3日(日・祝)に「第51回北條五代祭り」が盛大に行われました。小田原市のHPによると市内外から約20万人の見物客が訪れたそうです。

晴天の中、銅門広場での出陣式を終え私達市子連は、「武者隊先駆け軍団」の中の「少年少女武者隊」としてエンジ色の衣装を着た男子25名、青色の着物を着た女子25名、青色の衣装を着た男子25名、オレンジ色の着物を着た女子25名の総勢100名で元気に行進して来ました。男子は、刀を腰に差し手には槍を持ち勇ましいでたちで女子は、薙刀を持って歩きました。途中2箇所定点奉行のかけ声に合わせて勝ち鬨をあげ沿道のみなさんからたくさんの声援を頂きながら銅門までの道のりを元気にパレードしました。「エイ、エイ、オー!!」

(侍大将より)



チャレンジアンドトライ

7月11日(土)

各学区の6年生男女1名ずつの参加による、青少年交流事業「チャレンジ アンド トライ」も、今年で4年目となりました。今回は、1日日程のプログラムとし、小田原アリーナのサブアリーナで実施しました。初めて出会った子どもたちも、次第に打ち解け、交流を深めることができました。

主な活動を子どもたちの感想とともに紹介します。

アイスブレイキング

体と頭をフルに使い、仲間と協力する大切さを体験することができました。



- ・アイスブレイクでは手を使っているのに頭も使っていてすごく難しかったです。
- ・アイスブレイクは、朝の脳の体操になった。学校でもみんなに紹介したい。

学校紹介

それぞれの通っている小学校について、特色のある行事などについて紹介しあいました。



- ・学校紹介は、自分の学校の良いところをパネルで紹介した。他の学校の紹介を聞いていても、すごいと思うところ、驚いたところがあって、よく分かった。
- ・学校紹介は、小田原市だけでもいろいろと違う特徴があって行ってみたくなった。

KYT

具体的な場面を想定し、危険を回避するために、どんなことに気をつければよいかを真剣に話し合いました。



- ・KYTは、いつもの子ども会でもやっているのですが、慣れてはいるのですが、今回は紙を使って自分の意見を書いたりしました。いつもの子ども会では、ここが危険ですとやるだけでしたが、今回はとても違うやり方でやっていたので、また違った危険を探することができました。

アクティビティ

体と頭をフルに使い、仲間と協力する大切さを体験することができました。



- ・走ったりみんなで運動できたりしたのでよかったです。また、学校でやりたいです。
- ・一人が気を抜くと失敗してしまいます。みんなが集中しないと成功しないので難しかったです。

出会ったばかりの時には、硬い表情だった子どもたちも、活動を積み重ねていくうちに打ち解けてきました。みんな仲良く協力することで貴重な体験ができたようです。

小田原アリーナまでの送迎をしてくださった保護者の皆さまをはじめ、関係の方々には本当にお世話になりました。ありがとうございました。来年度もより良い活動ができるよう、役員一同、知恵を絞って頑張ります。

前期育成者・指導者研修会

安全教育推進事業

去る5月17日、小田原アリーナにおいて、平成27年度前期子ども会育成者・指導者研修会、及び安全教育推進事業が開催されました。

小田原市子連の育指研では講師を外部に頼らずに役員が各々得意な分野で工夫を凝らしたプログラムを考えるなど独自の取り組みをここ数年続けてきましたが、それが評価され今年は神奈川県子ども会連合会との共催となりました。各学区・単位の指導者・育成者約200名に加え、神奈川県内の子ども会から多数の参加者が集まりました。当日の内容は全国子ども会のホームページに掲載されました。

この時期は年度当初とあって、役員になって間もない参加者が多いので、1年間を通して子ども会活動に役立つ知識や技術の習得がこの研修会の趣旨です。橋本会長より、「子ども会の役割・育成者の役割」との演題で基調講演があり、会長自身の経験も交え、肩肘を張らずに出来ることをやろうというアドバイスに、子ども会活動に対する責任感と不安が入り混じった参加者の中には思わず頷く方もありました。

「アイスブレイキング」はこれまでも「これからの子ども会活動にすぐ使える」と大変好評でした。今年も簡単なハンドゲームから、じゃんけんをアレンジしたゲームや大きな輪になって楽しむゲームなどを行い参加者同士の垣根を取り払いました。

安全教育推進事業では、事前に事故を防ぐためのKYT(危険予知トレーニング)や事故(けが)が発生した場合の救命救急活動など、子ども会活動中のけがや事故を防止するのに必要な知識を学びました。使用したKYT用の教材は小田原市子連が独自に作成し、様々な研修会で利用しているものです。

さらに参加者同士のコミュニケーションを密にし、チームワークや協調性を養うプログラムを皆さんに体験していただきました。今回のアクティビティはフラフープくぐり。二十人ほどのグループが円を作り、手をつなぎます。手を離さずにフラフープを1周させるのにどのくらいかかるか、目標タイムを設定しトライします。1回やってみた後、どうしてもっとタイムをよくすることができるか、あるいは目標タイムに近づけることができるか、グループごとに話し合いをして知恵を出し合います。ここがこのアクティビティのポイントで、参加者がお互いにコミュニケーションをとることによってグループが一つにまとまりより高い目標に向かうようになることが大事です。今回、指導者の皆さんもグループごとに一致団結し、2回目は1回目よりも良いタイムでクリアできました。

今回の会を通じて、安全やアイスブレイキング、アクティビティプログラムに関する知識や技能が指導者・育成者のみなさんに広がり、これからの子ども会活動の活発な運営に生かされていくことを希望しています。



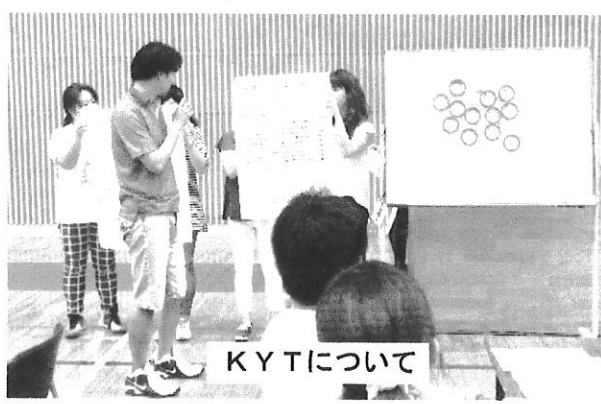
橋本会長の基調講演



アイスブレイキング



フラフープくぐり



KYTについて

夏休み映画鑑賞会

平成27年度映画鑑賞会は、8月8日(土)小田原市民会館大ホールで開催しました。

今年は名探偵コナンの劇場版19作目「業火の向日葵」を上映しました。

歴史的名画であるゴッホの「ひまわり」をめぐって繰り広げられる謎にコナンが挑みます。

ニューヨークのオークション会場で、かつて日本で焼失したとされているゴッホの「ひまわり」が3億ドルという史上最高額で落札されます。

その絵を手に入れた大富豪・鈴木次郎吉の目的は、世界に散らばる7枚の「ひまわり」を集め、鉄壁のセキュリティを誇る日本の美術館レイクロックで展示することでした。

しかしそこへ、巨大宝石しか狙わないはずの怪盗キッドが現れ、「ひまわり」を奪うと宣言します。

唯一無二の至宝を巡り、嘘と真実が入り乱れるアートミステリーの結果はどうでしたか？

今年も多数入場していただき、ありがとうございました。

おだわらしこれん えいがかんしょうかい
小田原市子連 映画鑑賞会

めいたんてい
名探偵コナン
こうか ひまわり
業火の向日葵

やる日 平成27年8月8日(土曜日)

ば しょ
場 所 おだわらしめんかいだん
小田原市民会館大ホール

にゅうじょうりょう
入 場 料 500円

じ かん
時 間 1回目 9:30~11:30 (赤色の券)
2回目 12:00~14:00 (青色の券)
3回目 14:30~16:30 (黄色の券)



お知らせのためにみなさんに配布したチラシです。

市子連は、市内23学区、135単位子ども会との連携をはかり、各種研修や行事の実施、関係機関との連絡調整などを行っています。市子連役員は、学区連合子ども会育成会会長や役員を経験した人を中心に各学区から推薦され、ボランティアとして活動しています。

☆今後の主な行事☆

【ふれあい子どもフェスティバル】

開催日:平成27年10月31日(土)

会 場:小田原アリーナ(メインアリーナ)

対 象:子ども会会員(小学生1~6年生)

内 容:スポーツ・ゲーム・作品展示

【インリーダー研修会】

開催日:平成28年1月23日(土)

会 場:小田原市役所(大会議室他)

対 象:子ども会会員5年生

内 容:検討中

役 職	氏 名	出身学区	平成二十七年 度 小田原市子ども会連絡協議会(市子連) 役員紹介
会長	橋本 輝夫	酒匂	
副会長(事務局長兼任)	島田 文子	芦子	
副会長	穂坂 明範	久野	
副会長(会計兼任)	本多 茂	酒匂	
事務局次長(会計兼任)	石塚 靖夫	国府津	
書記	飯岡 直美	桜井	
書記	石井 園子	三の丸	
安全共済会	富樫 栄広	早川	
安全共済会	石川 聡之	矢作	
監査	佐藤 和久	国府津	
監査	佐藤 政則	曾我	